



隊友四街道支部便り



令和6年2月号 支部事務局
副支部長：奥村（090-8728-7838）

「令和6年度の四街道支部活動指針」を定めました！

防衛政策の大転換となる時代、①新たな次元を迎えた自衛隊と国民を結びつける真の意味での「国民と自衛隊とのかけ橋」を目指し、会員一丸となって、我が国の平和と安全に寄与する。

このためにも、現会員に加え、②新たに自衛隊を退職される方や予備自衛官の方に隊友会の意義を理解して頂き、共に行動して頂くことを期待。また、これらの活動を通じて会勢拡大につなげていく。

①及び②の「目的」を明確にした事業に取り組みます。皆様の積極的な参画を宜しくお願い致します。

当面取り組む支部事業についての紹介

1 活動指針「①」を目的とした事業

- (1) 防衛政策、自衛隊の活動の周知及び理解促進事業
→機関紙「隊友」等の各会員への手配り配布
毎月、役員及び地区担当理事が配布しています。
- (2) 自衛隊の活動への支援等を通じた信頼促進事業
→下志津駐屯地の環境整備支援を実施し、駐屯地記念行事の開催に寄与します。今年も4月に実施する予定です。
- (3) 震災対処訓練等を通じた自治体との連携事業
→大規模備蓄倉庫（市原市）の物品搬出訓練の主務支部となり訓練に参画します。現在、それに資する事前偵察を実施すべく、千葉県危機管理課と調整中です。
- (4) 地域社会の環境整備に対する貢献事業
→陸軍兵士無縁仏供養祭（栗山半台区）に備えた周辺環境の整備活動を支援します。今年も3月に実施する予定です。

2 活動指針「②」を目的とした事業

- (1) 会員相互の情報共有に資する事業
→毎月発刊の「四街道支部便り」により情報共有します。記事に関する要望等もお待ちしております。
- (2) 親睦事業の企画
第1回親睦ゴルフ大会を4月に実施する予定です。
- (3) 特別会員への広報
毎月の支部便りを通じて情報の提供・共有を継続するとともに、新規会員の確保も図っていきます。

これらの「目的」達成のため、会員の皆様の積極的な事業参加を期待しております！



ヒゲの隊長
参議院議員佐藤正久メルマガ

【防衛警備に万全を期しながら被災者支援を行う自衛隊】

令和6年能登半島地震の発生から1ヶ月が過ぎました。被災地の現状を踏まえて自衛隊は、様々な活動を行っています。自衛隊は組織力を活かして、多種多様な支援を行っています。例えば、倒壊家屋を除去しながらの搜索活動、寸断された道路を通行できるようにする道路啓開。ヘリや航空機、船、トラック、そして人力による食料や水、毛布、燃料等の輸送支援。生活支援としては給食支援の炊き出しや、断水区域での給水支援。避難所での医官、看護官による巡回診療。あるいは、自衛隊が借り上げている民間船舶での宿泊支援、そして、音楽隊による音楽演奏も実施しています。その他にも、刻々と変化する被災地の支援ニーズを把握して役場に届けて、行政と被災者の間をつなぐニーズ把握隊というものも編成しています。避難所には、高齢の皆様も多くいます。やはり避難が長期化すると、精神的な健康を維持する上でも、会話コミュニケーションは非常に大事になってきますので、ニーズ把握隊の隊員との会話というのは、大変喜ばれているようです。そして何より隊員の励みになっているのは、被災者からの「自衛隊さん、ありがとう」の言葉や手紙です。一方、輪島にある航空自衛隊の隊員も被災者です。レーダー施設の復旧もこれからです。このため、陸海空が協力しながらレーダー施設の機能を補完している状況です。

自衛隊は、日本の防衛警備に万全を期しながら被災者支援を行っており、これからも継続する予定です。

（2/12配信メルマガ 抜粋）

皆様へのご案内とお願い

- 「四街道市憲法改正推進市民の会」勉強会のご案内 ※貴重な機会だと思います。参加をお待ちしております。
・日時及び会場：令和6年3月10日（日）1000～1130 四街道市文化センター301・302号室
・講師及び演題：元防衛省 海上幕僚長 古庄幸一氏 「日本の憲法と自衛隊」 ※事務局長：中尾英夫様